

2025 年度 武蔵野学芸専門学校 事業報告

(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

(担当者：校長 三上慎之介)

●在籍者数（2026 年 5 月 1 日現在）

(単位：名)

課程	専門課程	高等課程	計	定員充足率	
学科	国際コミュニケーション学科	国際芸術学科		専門課程	高等課程
入学定員	60	40	100	－	－
収容定員	120	120	240	－	－
新1年生	63	33	96	105.0%	82.5%
新2年生	35	42	77	58.3%	105.0%
新3年生	－	33	33	－	82.5%
計	98	108	206	81.7%	90.0%

I. 2025 年度の事業概要

- ① 専門課程においては、少人数制による伴走型教育を徹底する一方で、地域連携や産官学連携を通じ、社会の一員として貢献できる学外での経験を創出してきた。特に夏季には、地域の児童 30 名近くが参加する「こども絵画教室」を開催。アートに触れる機会を提供するとともに、学生がボランティア活動に主体的に関わり、自ら考案したワークショップを実践する貴重な機会となった。
- ② 高等課程においては、夏期講習会での進学対策講座の実施などにより、美術大学への合格率が 2 年連続で 80%を超える好成績を収めた。また、映画『キングダム』の監督である佐藤信介氏が運営する「Angle Pictures」との産学連携や、東京ビッグサイトで開催される「デザインフェスタ」への参加などを通じ、生徒が自らの作品を外部へ発信する力を養う実践的な教育を展開した。

事業目的項目	達成度
(1) 難関美術大学進学	進路決定率90%。4年連続50名超の合格実績を維持し、本年度は東京芸術大学1名、多摩美術大学8名、武蔵野美術大学13名などに多数合格。大学編入7名を含め、美大への総合格者数は70名にのぼった。
(2) 募集実績	目標達成率 85%。専門課程では HP に就職状況やキャリアサポート頁を新設。検索性の向上により情報訴求を強化した結果、1 年生の日本人学生数は 27 名となった。
(3) 国内外で活躍する著名人による特別授業の実施	目標達成率 100%。電通や竹尾、加藤文明社など連携企業 6 社による特別授業を展開。また、画家・山口晃氏や絵本作家・いせひでこ氏をはじめ、第一線で活躍するアーティスト等 13 名による多彩な講義を実施した。
(4) 展示活動の推進、及び公募展出品への奨励	目標達成率 90%。視覚障がい者協会主催の「やさしい声がけリーフレット」や、ジェイ・エス・ビーネットワーク主催の「UniLife 店舗掲載公募」をはじめとする学内公募展を企画・実施した。

II. 2025 年度の取り組み

1. 2026 年度入学生募集活動

ターゲット層の AI 検索による進学先選びに対応すべく、両課程の WEB コンテンツを抜本的に見直し。NEWS ページを構築し、生成 AI には模倣できない独自の「一次情報」を強化することでサイトの差別化を図った。

入試状況

学科 コース名	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数			2026 年度生 目標数	目標 との 差	達成度 (%)
	2025 年度	2026 年度	2025 年度	2026 年度	2025 年度	2026 年度	2025 年度	2026 年度	前年度 対比			
専門課程	117	89	117	84	65	62	58	59	+1	60 人	-1	98.3%
高等課程	47	35	47	35	44	34	43	33	-10	40 人	-7	82.5%

<募集活動における課題と改善>

- (1) 専門課程 OC は 141 名（目標 120 名）、高等課程 OS は 95 名（目標 100 名）が参加し、専門課程では目標達成し、集客は好調であったが、高等課程では苦戦した。
- (2) 専門課程の日本人募集は 3 年連続 25 名以上と良好な一方、留学生の出願が減少傾向にある。今後は日本語学校訪問や進学イベント出展を増やし募集を強化する。併せて、イベント参加者の出願率を向上させる募集活動も拡充する。

2. 2025 年度に実施した新たな事業内容の結果と 2026 年度への課題

事業目標	事業内容	2026 年度への課題
(1) 学生募集強化	達成率 80%。AI 検索への最適化に向け、両課程の記事情報、コンテンツを抜本的に見直し、テキスト量を増加させた。今後も SEO 対策をはじめとした WEB 広報活動を強化し、ホームページへの動線を確立する。	今後は AI 検索で本校が引用されるコンテンツをさらに増加させる。テキストのみならず画像情報においても AI 検索への最適化(SEO 対策)を進め、さらなる認知獲得に向けたサイト改善を行う。
(2) 研修による教員育成	目標達成率 90%。全教員を対象に総会と講師授業研修会を開催。武蔵野学芸美術教育研究所副所長の中村美知枝氏による審査・講義を仰ぎ、指導体制の強化と教育内容のさらなる充実を図った。	高等課程生への不登校指導、保護者対応、及び災害時での教職員の学生対応の研修を行い、学校の信頼性と質の高さを上げる。

Ⅲ. 教育成果

1. 2025 年度の合格状況

<主な合格大学>

専門課程（卒業生 43 名）：東京芸術大学大学院 1 名（+1）、武蔵野美術大学 8 名（-1）、武蔵野美術大学大学院 2 名（+1）、多摩美術大学 4 名（-2）、多摩美術大学大学院 2 名（+2）、東京造形大学 1 名（±0）、女子美術大学 7 名（+3）、日本大学芸術学部 1 名（+1）、大阪芸術大学 1 名（+1）他
 高等課程（卒業生 25 名）：東京芸術大学 1 名（+1）、武蔵野美術大学 3 名（+1）、多摩美術大学 2 名（-1）、東京造形大学 3 名（+1）、女子美術大学 3 名（-3）、日本大学芸術学部 1 名（+1）他

<主な就職先>

別冊マガジン（担当編集付）、仲吉商事株式会社 デザイン企画部、商人ねっと株式会社 デザイン企画部、SOUKI PRODUCTION、株式会社スーリールアンフィニ、ヒューマンインサイト・トラスト ホテル、新日通株式会社、株式会社 SONPO ケア、株式会社コスモライフ、Tattoo Studio Shangri-La、他

2. その他特筆すべき事業成果

項目	事業内容・結果
(1) 美術大学との教育連携	本校では、主要美術大学との教育連携は年々強固になっている。10 年間継続する東京芸術大学との連携では大学美術館の収蔵庫見学等を拡充。さらに女子美術大学の 2 キャンパス同時開催授業や、武蔵野美術大学の小林耕平教授による特別講義を展開するなど、大学連携による本校独自の高度な専門教育を実践した。

以上